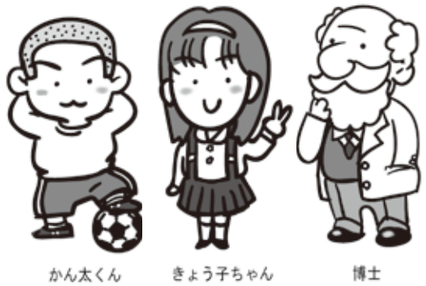
みんなで考えよう
公共交通㊺

こいこいバスのルートは？支線交通って？

問い合わせ　大竹市地域公共交通活性化協議会（自治振興課内☎㊾2142）



かん太　ねえ、おねえちゃん、この前、博士が、環境や交通事故などを考えて、バスなどの公共交通を利用することが大切だって教えてくれたよね。

きょう子　そうだね。だから、お父さんと一緒に、こいこいバスに乗って買い物に行ったよね。

かん太　ゲームを買ってもらってうれしかったよ。友だちに、こいこいバスに乗って買い物に行った話をしたら「かん太の家はバス停が近いからいいよね。」って言われたんだ。友だちは、坂の上の団地に住んでいるから。

きょう子　バス停からは遠いね。

かん太　バス停が遠いから、友だちはまだこいこいバスに乗ったことがないんだって。

きょう子　バス停が友だちの家の近くにできたら、こいこいバスに乗ることができるのにね。かん太、こいこいバスの運行ルートを変更することができるか、博士に聞いてみようか。

かん太　うん、聞いてみたい。

きょう子　博士、こいこいバスの運行ルートを延ばしたり、変更したりすることってできるの？

博士　こいこいバスの運行ルートから外れている地区の人から、市に対して、自分が住んでいる地区までこいこいバスの運行ルートを変更・延長してほしいという要望はあるんじゃ。しかし、運行ルートの変更は、市ではなく、市民で構成する「幹線交通検討分科会」で検討するんじゃ。分科会で運行ルート変更の必要性が認められれば、次に国・県・市などの関係機関やタクシー業者、市民で構成する「大竹市地域公共交通活性化協議会」で審議するんじゃ。そして、協議会で認められれば運行ルートの変更や延長ができるんじゃ。

かん太　市が決めるのかと思ってた。

博士　現在のこいこいバスの運行ルート（ＪＲ玖波駅から大竹駅）を決めるにあたっては、次の２つを特に重視したんじゃ。サービス水準の高い移動手段とするため、できるだけ運行間隔を短くすること。バスの運行に対する税金の投入をできるだけ抑え、長く続けることができる公共交通にすることなんじゃ。

かん太　現在の運行ルートを延ばしたり変えたりしたらどうなるの？

博士　運行ルートを変更して、いろんな地区や団地を通るようになったら、運行する時間はどうなるかの。

かん太　運行ルートが長くなるので、玖波駅から大竹駅までの運行時間も長くなるよね。

きょう子　行きたいところには早く着きたいし、時間がかかると困るよね。それに、今は、40分から1時間の間隔で運行しているけど、それもかわるの？

博士　そうじゃな。運行ルートを延ばしたり、変更したりすることによって、1時間半から2時間の間隔で運行するようになったらどうじゃ。

かん太　待つだけで疲れるね。バスを増やせばいいじゃん。

博士　今はバス何台で運行しておるかの。

きょう子　2台で運行してるって聞いたよ。

博士　そうじゃな。これは、分科会で運行ルートなどを検討する際に、長く続けることができる公共交通にするため、市の地形的要素や財政規模などを考慮し、2台運行を基本として運行経費、運行間隔などを考えて、決めたからなんじゃ。かん太、バスの台数を増やしたら、バスを運行するための経費はどうなるかの。

かん太　2台増やしたら、倍のお金がかかるね。

博士　そうじゃ。仮に経費が1、000万円で運賃収入が500万円だとすると500万円の赤字じゃが、経費が倍の2、000万円になって、運賃収入も倍の1、000万円になったとしても赤字額は倍の1、000万円になるんじゃ。

きょう子　経費が増えたら、それ以上の運賃収入がないと、長続きしなくなるね。

かん太　友だちがこいこいバスに乗るにはどうしたらいいの？

博士　全ての地区をこいこいバスでカバーするのではなく、それぞれの地区に合った移動手段を考えればいいんじゃないかの。

きょう子　支線交通のこと？

博士　そうじゃ、現在、支線交通は4つの地区で運行されておるんじゃ。デマンド交通（利用者が電話などで乗車を予約し、乗り場はエリア内なら希望できる交通システム）として、乗合タクシーを三ツ石町、玖波7・8丁目、湯舟町で運行しておるんじゃ。また、栄地区では、定時定路線型のバスを運行しておるんじゃ。

かん太　どうやって、支線交通をつくればいいの？

博士　市役所に相談すれば、職員が地区へ出向いて説明してくれるんじゃ。

きょう子　じゃあ、市にまかせておけばいいの？

博士　支線交通は、その地区に合った交通手段や維持していける仕組みをつくることが必要なんじゃ。本当に支線交通を必要としている人たちが、必要な運行ルート、負担できる料金、ふさわしい車両について考えることで、住民自らが守り育てる支線交通になり、長続きできるようになるんじゃ。

きょう子　現在支線交通を運行している地区の人に便利になったことや苦労したこと、今後の課題などを聞けば、参考になることは多いよね。

博士　それは大切なことじゃ。それで、地区の結びつきもでき、支線交通の広がりにも繋がってくるんじゃ。

かん太　みんなで考えたら、いい交通手段が見つかるよね。市のどこに相談すればいいの？

博士　4月から市の公共交通の窓口は自治振興課になったんじゃ。

かん太　わかったよ。友だちに話してみるよ。博士ありがとう。

きょう子　友だちが住んでいる地区にも支線交通が整備されるといいわね。

バス車内の事故を防止しよう

バスの車内事故は、バス事故の約3割を占めています。

車内事故は高齢者の負傷や骨折などの重傷事故につながりますので、特に注意が必要です。

利用者側の事故の要因としては、バスが停留所に着いて完全に停止する前に席を立つことや、走行中の車内移動に起因するものがあります。一方、運転者側の事故の要因としては、利用者が着座する前に発車することに起因するものが多くあります。

このような車内事故を防ぐためにも、利用者側、運転者側はつぎのことを守って車内事故をゼロにしましょう。

ゆとり乗降

バスが停車し、扉が開いてから席を立ちましょう。

ゆとり運転

利用者が着席してから発車しよう。

バス運行業者は安全運転に徹していますが、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合があります。車内移動、満席で立って利用する場合は吊革（つりかわ）や握り棒にしっかりつかまりましょう。

バスの車内事故防止にご理解、ご協力をお願いします。

栄ぐるりんバスがリニューアルします

現在、栄地区住民で構成する栄ぐるりんバス運行委員会では、栄ぐるりんバスをもっと利用しやすく便利なバスにするため、9月の変更を目標に、運行ルートやダイヤの改正について検討しています。

現時点では、つぎのように改正する予定で検討を進めています。

新	旧
週６日（月･火･水･木･金･土）運行	週３日（月・水・金）運行
国道２号線の西側も含めた栄地区全体を運行	国道２号線の東側を運行
両回りでの運行（ただし、１台のバスで運行します）	片回りでの運行

なお、ルート変更により、バス停が新設・廃止・移動されます。運行内容やバス停の位置などの詳細は、決定次第お知らせします。

栄ぐるりんバス運行委員会